

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年10月16日(2014.10.16)

【公表番号】特表2013-539687(P2013-539687A)

【公表日】平成25年10月28日(2013.10.28)

【年通号数】公開・登録公報2013-059

【出願番号】特願2013-532871(P2013-532871)

【国際特許分類】

A 4 5 D 26/00 (2006.01)

【F I】

A 4 5 D 26/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成26年8月29日(2014.8.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

動物から体毛または剛毛を除去する装置であって、

長手軸を有する第 1 の円筒体と、

長手軸を有する第 2 の円筒体と、

を含み、前記第 1 の円筒体および第 2 の円筒体は互いに近接して配置され、円筒体のそれぞれの長手軸のまわりを反対方向に回転することができ、前記装置は、

前記円筒体の長手軸に対して第 1 の方向で前記第 1 の円筒体の一部分に巻き付けられ、さらに、前記第 1 の方向とは反対の第 2 の方向で前記第 2 の円筒体の一部分に巻き付けられて、前記第 1 の円筒体が前記第 1 の方向に回転し、前記第 2 の円筒体が前記第 2 の方向に回転するときに、細長い挟み込み部分が、前記第 2 の円筒体との間に形成される少なくとも 1 つの可撓性材料シートをさらに含むことを特徴とする装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の装置において、前記第 2 の円筒体は、歯を有する表面を含むことを特徴とする装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の装置において、前記第 2 の円筒体は、テクスチャ表面を含むことを特徴とする装置。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 の何れか 1 項に記載の装置において、前記可撓性シートは、歯を有する表面を含むことを特徴とする装置。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 の何れか 1 項に記載の装置において、前記可撓性シートは、テクスチャ表面を含むことを特徴とする装置。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 の何れか 1 項に記載の装置において、前記第 1 の円筒体は、歯を有する表面を含むことを特徴とする装置。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 の何れか 1 項に記載の装置において、前記第 1 の円筒体は、テクスチャ表面を含むことを特徴とする装置。

【請求項 8】

請求項 1 乃至 7 の何れか 1 項に記載の装置において、前記可撓性シートと接触する少なくとも 1 つの増設円筒体をさらに含むことを特徴とする装置。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の装置において、前記少なくとも 1 つの増設円筒体は、前記第 1 の方向でその長手軸のまわりに回転することができ、前記可撓性シートは、前記第 1 の円筒体、第 2 の円筒体、および少なくとも 1 つの増設円筒体のそれぞれと接触するループを形成するように前記増設円筒体の表面と接触することを特徴とする装置。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の装置において、前記少なくとも 1 つの増設円筒体には、それぞれが前記可撓性シートと接触し、長手軸のまわりに回転できる少なくとも 2 つの円筒体が含まれることを特徴とする装置。

【請求項 11】

請求項 10 に記載の装置において、前記少なくとも 2 つの円筒体は、前記第 1 および第 2 の円筒体に対して位置を調整できることを特徴とする装置。

【請求項 12】

請求項 1 乃至 11 の何れか 1 項に記載の装置において、前記第 1 の円筒体は、前記第 2 の円筒体の直径よりも小さい直径を有することを特徴とする装置。

【請求項 13】

請求項 10 乃至 12 の何れか 1 項に記載の装置において、第 3 の円筒体をさらに含み、前記第 1 の円筒体は、前記第 2 および第 3 の円筒体間に配置され、前記可撓性シートは、前記第 3 の円筒体の表面と接触することを特徴とする装置。

【請求項 14】

請求項 1 乃至 13 の何れか 1 項に記載の装置において、前記細長い挟み込み部分に近接して配置され、前記第 1 および第 2 の円筒体の前記長手軸に対してほぼ平行に延びるロッド部材をさらに含むことを特徴とする装置。

【請求項 15】

請求項 14 に記載の装置において、前記ロッド部材には、円筒形のロッドが含まれることを特徴とする装置。

【請求項 16】

請求項 15 に記載の装置において、前記円筒形のロッドは長手軸を有し、その長手軸のまわりに回転できることを特徴とする装置。

【請求項 17】

請求項 14 乃至 16 の何れか 1 項に記載の装置において、前記ロッド部材は、前記細長い挟み込み部分に向かって前記ロッド部材を付勢するように構成されたスプリング部材と動作可能に係合することを特徴とする装置。

【請求項 18】

請求項 1 乃至 17 の何れか 1 項に記載の装置において、前記円筒体の少なくとも 1 つに動作可能に連結されて、前記円筒体をそれらの長手軸のまわりに回転させる動力源をさらに含むことを特徴とする装置。

【請求項 19】

請求項 18 に記載の装置において、前記動力源は、前記円筒体を回転させ、前記細長い挟み込み部分に沿って少なくとも 20 ポンド/インチを発生させるのに十分なトルクを発生させるように構成されることを特徴とする装置。

【請求項 20】

請求項 1 乃至 19 の何れか 1 項に記載の装置において、前記少なくとも 1 つの可撓性材料シートには、互いに近接して配置された複数の可撓性材料シートが含まれることを特徴とする装置。

【請求項 21】

請求項 1 乃至 19 の何れか 1 項に記載の装置において、前記第 2 の方向で前記第

１の円筒体の一部分に巻き付けられ、さらに、前記第１で前記第２の円筒体の一部分に巻き付けられて、前記第１の円筒体が前記第１の方向に回転し、前記第２の円筒体が前記第２の方向に回転するときに、少なくとも１つのさらなる細長い挟み込み部分が、前記第１の円筒体との間に形成される少なくとも１つのさらなる可撓性材料シートをさらに含むことを特徴とする装置。

【請求項２２】

請求項１乃至１５の何れか１項に記載の装置において、前記可撓性シートは、前記第２の円筒体の円周の少なくとも１２０°にわたって前記第２の円筒体の表面と接触することを特徴とする装置。

【請求項２３】

動物から体毛または剛毛を除去する装置であって、
長手軸を有する第１の円筒体と、
長手軸を有する第２の円筒体と、
を含み、前記第１の円筒体および第２の円筒体は互いに近接して配置され、円筒体のそれぞれの長手軸のまわりを反対方向に回転することができ、前記装置は、
前記第１の円筒体の一部分に巻き付けられた第１の可撓性材料シートと、
前記第２の円筒体の一部分に巻き付けられた第２の可撓性材料シートと、
をさらに含み、前記第１の可撓性シートおよび第２の可撓性は、前記第１および第２の円筒体が、それらのそれぞれの長手軸のまわりを反対方向に回転するときに、前記第１および第２の円筒体間に配置された物体に作用する引き抜き力を発生させる細長い挟み込み部分を形成する噛合テクスチャ表面を有することを特徴とする装置。

【請求項２４】

請求項２３に記載の装置において、前記第１の円筒体および第２の円筒体のテクスチャ表面は、噛合歯付き面であることを特徴とする装置。

【請求項２５】

請求項２３または２４に記載の装置において、第３の円筒体をさらに含み、前記第１の可撓性シートは、前記第１の円筒体と前記第３の円筒体との間でループを形成することを特徴とする装置。

【請求項２６】

請求項２５に記載の装置において、第４の円筒体をさらに含み、前記第２の可撓性シートは、前記第２の円筒体と前記第４の円筒体との間でループを形成することを特徴とする装置。

【請求項２７】

請求項２３乃至２７の何れか１項に記載の装置において、前記円筒体の少なくとも１つに動作可能に連結されて、前記円筒体をそれらの長手軸のまわりに回転させる動力源をさらに含むことを特徴とする装置。

【請求項２８】

請求項３１に記載の装置において、前記動力源は、前記円筒体を回転させ、前記細長い挟み込み部分に沿って少なくとも２０ポンド／インチを発生させるのに十分なトルクを発生させるように構成されることを特徴とする装置。

【請求項２９】

動物から体毛または剛毛を除去する装置であって、
実質的に平坦な剛性下側面と先端前縁部とを有する案内部材であって、前記先端前縁部が、鋭角の底部部分と、前記先端前縁部から離れる方向に向けられた緩い曲面を含む上部部分とを有する、案内部材と、
少なくとも１つの把持面と、
を含み、前記把持面は回転自在に移動して、前記案内部材の上面と前記把持面との間に挟み込み領域を形成するように前記緩い曲面に近接して進むことを特徴とする装置。

【請求項３０】

請求項２９に記載の装置において、前記少なくとも１つの把持面には、回転軸のまわり

にほぼ等間隔に配置された複数の把持面が含まれることを特徴とする装置。

【請求項 3 1】

請求項 2 9 または 3 0 に記載の装置において、前記少なくとも 1 つの把持面には、テクスチャ表面が含まれることを特徴とする装置。

【請求項 3 2】

請求項 3 1 に記載の装置において、前記テクスチャ表面には、テクスチャ金属面が含まれることを特徴とする装置。

【請求項 3 3】

請求項 2 9 乃至 3 2 の何れか 1 項に記載の装置において、前記案内部材の前記上面には、平滑な金属面が含まれることを特徴とする装置。

【請求項 3 4】

動物の皮膚から体毛または剛毛を除去するのに適した装置であって、

第 1 の円筒体と、

第 2 の円筒体と、

を含み、

前記第 1 の円筒体および第 2 の円筒体は、それらのそれぞれの長手軸のまわりを反対方向に回転するとき、前記第 1 および第 2 の円筒体間に配置された物体に作用する引き抜き力を発生させる細長い挟み込み部分を形成することができるよう、互いに近接して配置されることを特徴とする装置。